国際かんがい排水委員会（ICID）とは

参考1

- ICID（International Commission on Irrigation and Drainage）は、かんがい排水にかかる科学的・技術的知見により、食料や繊維の供給を世界規模で強化することを目的として、1950年に設立された自発的非営利・非政府国際機関。日本は1951年に加盟。
- 78の国・地域が加盟し、各国は国内委員会を設置。

毎年開催

国際執行理事会

- 常任委員会（技術活動委員会等3委員会）
- 委員会（広報出版委員会等3委員会）
- 地域作業部会（アジア地域作業部会等4部会）
- 作業部会/作業チーム（ほ場かんがいシステム部会など）

3年毎に開催

- 総　会
- 地域会議
- 世界かんがいフォーラム

国際執行理事会の様子（2019年、インドネシア・バリ）

日本国内委員会

学術経験者等をメンバーとし、かんがい・排水・洪水等に関する知見の情報の収集・発信

委　員：渡邉紹裕委員長（熊本大学特任教授）等 18名

事務局：農林水産省農村振興局整備部設計課